

令和6年度 第3回 帯広市健康生活支援審議会 議事録

○開催日：令和7年1月15日（水）書面開催

○出席委員：23名中20名

○議題：(1) 第四期帯広市地域福祉計画（原案）に対するパブリックコメントの結果及び第四期帯広市地域福祉計画（案）について
 (2) 第四期帯広市アイヌ施策推進計画（原案）に対するパブリックコメントの結果及び第四期帯広市アイヌ施策推進計画（案）について

○議事概要：上記議題について、意見シートを提出いただく形で意見を伺いました。各委員からいただいたご意見と市の対応の考え方は、次のとおりです。

※資料1：第四期帯広市地域福祉計画（原案）に対するパブリックコメントの結果について

※資料2：第四期帯広市地域福祉計画（案）について

※資料3：第四期帯広市アイヌ施策推進計画（原案）に対するパブリックコメントの結果について

※資料4：第四期帯広市アイヌ施策推進計画（案）について

■いただいた意見と対応

資料番号	頁	ご意見	市の対応
2	8	5年間で、老人クラブ数は88%に、会員数は74%に減少しており、高齢化の要因があるにしても、老人クラブの活動内容を検討する必要があります。	<p>老人クラブについては、会員数の減少や活動に伴う負担感などを背景に、これまで通りの活動を継続することが難しくなっており、休会や解散に至るケースも生じていたところ。</p> <p>そうした状況を受け、令和4年3月に出された提言書に基づき、補助制度やバス利用方法の見直しを行うなど、活動の負担を軽減し、楽しく活動を続けられる環境づくりを進めているところ。</p> <p>今後も老人クラブの継続性を高められるよう、提言内容を踏まえた実効性ある取組みを継続していく考えです。</p>
2	9	民生委員・児童委員数もボランティア数も減少している。市は委員を充足するための方策を早急に検討すべきだと思います。	<p>民生委員・児童委員については、担い手の高齢化や働く高齢者の増加などを背景に、欠員が増加傾向にあります。</p> <p>そうした状況を受け、委員の担い手確保に向け、令和4年1月に出された提言書に基づき、町内会への委員候補者紹介の働きかけをはじめ、活動の負担軽減や活動しやすい環境づくりなどに取り組んでいるところ。</p> <p>今後も、提言書の内容を踏まえ、町内会への働きかけやホームページを通じた周知など、地道な欠員解消に向けた取組みを進めていく考えです。</p>

資料 番号	頁	ご意見	市の対応
2	15	<p>民生委員・児童委員の相談件数が5年間で7割に減少しているが、各委員の利用や相談方法がよく分からないと思われる。各委員の氏名及び相談方法などを広報する必要があると思います。</p>	<p>民生委員・児童委員は、日常生活に不安や困りごとを抱えた人の最も身近な相談相手として、その存在を広く知っていただくことは非常に重要と考えています。</p> <p>そのため、市では、広報紙への特集記事の掲載やホームページを通じて民生委員・児童委員やその活動内容の周知などに努めているところです。</p> <p>なお、ご指摘の委員一人ひとりの氏名等の公表については、個人情報保護の観点から、難しい部分もあると考えており、効果的な周知方法などについて、今後も検討していく考えです。</p>
2	45	<p>「市民が主体的に介護予防に取り組む環境づくり」とあるが、現在通いの場の費用問題や活動内容に煮詰まっている自主サークルが多くなっています。新たな自主サークル立ち上げも必要ですが、現在のサークルが活動を継続できるサポート体制が必要と考えます。</p>	<p>市でも新たなサークルの活動だけでなく、既存のサークル等の活動の活性化も重要と考えており、計画45ページでは「通いの場」の「創設」と並行して「活用」と記載しているところです。</p> <p>既存のサークル等でも、会員の高齢化や新たな担い手の確保の難しさなどの課題は何っているところで、今後も当事者等のご意見なども伺いながら、活動を継続しやすい環境づくりなどについて検討していく考えです。</p>
2	52	<p>成年後見制度に関心があり2年に渡り講習会を受講しましたが、内容が多岐に渡り、まだ制度について十分に理解できていません。</p> <p>成年後見支援センターの必要性は今後ますます増してくると思われれます。後見支援に関する講習会を希望します。</p>	<p>帯広市が委託している成年後見支援センター「みまもーる」で実施している講習等には、</p> <p>① 一般市民でありながら後見人として活動する「市民後見人」を養成するために開催する「市民後見人養成研修」（専門的かつ幅広い内容で20以上の講義を履修する必要があります）</p> <p>② 成年後見制度について、幅広い市民の理解や周知を図ることために行う「成年後見フォーラム」や「出前講座」</p> <p>などがあります。</p> <p>今後も多くの人に制度について理解と関心を深めていただけるよう、開催内容や周知方法などの工夫に努めていく考えです。</p>

資料 番号	頁	ご意見	市の対応
2	55	<p>今後、認知症患者の増加によって、成年後見制度を利用する方が増えると思うので、ケアマネジャーに対して周知活動が必要と思います。</p>	<p>ご指摘のとおり、成年後見制度の利用の増加が見込まれる中、ケアマネジャー等に制度について理解していただくことは非常に重要と考えています。</p> <p>そのため、ケアマネジャーの資質向上や情報の共有などを目的に組織されている「帯広市介護支援専門員連絡協議会」に対し、成年後見フォーラム等の案内をしているところです。</p> <p>今後も、より多くのケアマネジャー等の専門職に制度について理解していただけるよう、効果的な周知方法を検討していく考えです。</p>
2	64 -68	<p>市民意見の聴取で出されている意見は、どの意見にも同感です。同時に実行することの難しさも感じます。しかし行動をしないと何も変わらないので、自分にできることは実行を心がけます。</p>	<p>人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことができる「地域共生社会」の実現を目指していく上では、様々な主体が連携・役割分担・協働しながら各施策を進めていくことが何より重要と考えています。</p> <p>そのため、多くの市民に計画上の役割を認識していただき、一人ひとりの行動につながるよう、計画の内容の周知などに努めていく考えです。</p>
4	6-7	<p>主な施策の内容は具体的でよいと感じました。</p>	<p>計画の内容をアイヌの人たちをはじめとする多くの市民と共有し、連携・協力しながら各施策を進めていくことが重要と考えており、今後も一人ひとりの行動につながるよう、計画の内容の周知などに努めていく考えです。</p>